

## 中国食品科学技術学会・冷凍冷蔵食品分会が来日しました

中国食品科学技術学会・冷凍冷蔵食品分会一行が来日し、10月18日の「冷凍食品の日」40周年記念イベントへの参加、同21日には協会事務所で木村専務理事、山本常務理事と意見交換会を実施しました。

### 来会者

中国食品科学技術学会	王 蘇	冷凍分会 副秘書長
	王 莉	事務室副主任
鄭州三全食品有限公司	陳 沢民	董事長
鄭州思念食品有限公司	徐 鋒	生産副總經理
蘇州市蘇阿姨食品有限公司	劉 德慶	副董事長
北京金路易速凍食品有限公司	黃 全勝	董事長
上海国福龍鳳食品有限公司	劉 振林	研究開発副助理
通用磨坊	劉 春艷	大中華区冷凍食品研究開発經理
無錫華順食品有限公司	龐 珂	總經理
(以下、日本側対応責任者)		
東京国際貿易株式会社	笠井 研也	
	宮川 節子	
	陳 璟	

(注) 孟素荷副理事長兼秘書長は来会の予定でしたが、都合により欠席。



当協会側からは、協会の概要説明の後、特に新認定制度やメディア、消費者団体に対する国内、中国工場視察、食の安全に関するセミナーの開催など最近の事業活動について説明しました。

一方で、中国側からは、同学会の概要説明の後、今年6月の食品安全法施行により企業への要求がより厳格になっていること、食品安全の責任は食品メーカーにあることなどが説明されました。

また、中国における冷食商品のアイテム数はまだまだ少ないこと、業務用の市場開拓が今後の課題であること、日本に学ぶべきところが多いことなどが話題に上りました。

最後に、「今回の訪日で10月18日の「冷凍食品の日」消費者イベントに参加できたことは、今後の学会活動において非常に参考になった。冷凍食品業界の健全な発展を目指し、日中両国の架け橋になりたい。」との話があり、今後、より一層交流を深めていくことで合意しました。